

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行  
 コード番号 7472 URL <http://www.toba.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三浦 直行  
 (氏名) 松永 健一

TEL 03-3944-4031

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,162	11.5	113	69.8	166	41.3	107	43.1
26年3月期第1四半期	3,732	△37.4	67	△85.7	117	△77.0	75	△76.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	22.68	—
26年3月期第1四半期	15.85	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,984	13,866	73.0
26年3月期	19,159	13,968	72.9

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 13,866百万円 26年3月期 13,968百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,200	6.4	330	34.0	370	19.3	240	25.6	50.53
通期	17,000	4.1	750	19.5	800	11.4	500	16.5	105.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	5,300,000 株	26年3月期	5,300,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	550,247 株	26年3月期	550,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	4,749,753 株	26年3月期1Q	4,749,824 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国におきましては雇用環境の改善とともに景気は着実な回復基調となっており、欧州諸国も国ごとにばらつきはあるものの一連のECB（欧州中央銀行）の金融緩和策によって景気後退を脱しつつあります。また、アジア諸国におきましては、成長速度の減速が懸念された中国では政府当局の景気下支え策等により景気の下振れリスクは回避されましたが、タイにおける政情不安の影響もあり、アジア諸国経済全体としては不安定な状態で推移いたしました。一方、わが国経済は、4月以降の消費税率引き上げ後の需要の反動減懸念もありましたが、北米向け自動車輸出の伸長等の輸出需要の回復及び底堅い個人消費に支えられて、景気は緩やかな回復過程を辿ってまいりました。

このような状況のもとで、普及期に入ったスマートフォン等に必要な電子デバイス（部品）並びに液晶、半導体製造装置等に関連する得意先や、国内外ともに需要が高まっている自動車の電装化（衝突安全性、燃費向上、機器操作のタッチパネル化等）に関連する車載部品及び電子・家電等の得意先向けに、電子化や省力化のための設備投資に必要な制御機器及びFA機器等の販売を推進してまいりました。また、従来の産業用ロボットとは異なるコンセプトを備えたヒューマノイドロボット等を媒介にして、業種を問わず将来の成長が期待できる有望な得意先の開拓営業にも積極的に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は41億62百万円(前年同四半期比11.5%増)、営業利益は1億13百万円(前年同四半期比69.8%増)、経常利益は1億66百万円(前年同四半期比41.3%増)、四半期純利益は1億7百万円(前年同四半期比43.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末（以下、「当四半期末」という）の自己資本比率は、前事業年度末（以下、「前期末」という）比0.1ポイント増の73.0%となりました。

## (資産)

当四半期末の総資産は、前期末と比較して1億74百万円(0.9%)減の189億84百万円となりました。

流動資産は、前期末比2億6百万円(1.4%)減の140億58百万円となりましたが、電子記録債権の増加(1億82百万円)と現金及び預金の減少(4億74百万円)が主な要因となっております。

固定資産は、前期末比31百万円(0.6%)増の49億26百万円であり、特記すべき事項はありません。

## (負債)

当四半期末の負債合計は、前期末と比較して72百万円(1.4%)減の51億17百万円となりました。

流動負債は、前期末比80百万円(1.6%)減の48億83百万円となりましたが、未払法人税等の減少(1億62百万円)が主な要因となっております。

固定負債は、前期末比8百万円(3.6%)増の2億34百万円であり、特記すべき事項はありません。

## (純資産)

当四半期末の純資産合計は、四半期純利益の計上(1億7百万円)による増加や、前期決算の剰余金の配当(2億37百万円)による減少などにより、前期末と比べ1億2百万円(0.7%)減の138億66百万円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月8日付の当社「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,365,112	6,890,280
受取手形及び売掛金	6,419,985	6,494,104
電子記録債権	335,527	517,693
商品	62,390	110,565
その他	84,381	48,525
貸倒引当金	△2,478	△2,571
流動資産合計	14,264,920	14,058,598
固定資産		
有形固定資産	1,979,190	1,971,157
無形固定資産	96,368	91,122
投資その他の資産	2,818,950	2,863,776
固定資産合計	4,894,510	4,926,056
資産合計	19,159,430	18,984,655
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,583,722	4,613,529
未払法人税等	190,029	27,117
引当金	110,000	60,000
その他	81,059	183,326
流動負債合計	4,964,811	4,883,973
固定負債		
引当金	24,125	15,125
その他	201,757	218,890
固定負債合計	225,882	234,015
負債合計	5,190,693	5,117,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,000	1,148,000
資本剰余金	1,261,059	1,261,059
利益剰余金	12,384,517	12,254,743
自己株式	△1,001,842	△1,001,842
株主資本合計	13,791,734	13,661,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177,001	204,704
評価・換算差額等合計	177,001	204,704
純資産合計	13,968,736	13,866,666
負債純資産合計	19,159,430	18,984,655

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,732,279	4,162,889
売上原価	3,203,216	3,584,571
売上総利益	529,063	578,317
販売費及び一般管理費		
配送費	15,496	18,770
役員報酬	21,186	20,586
給料及び手当	205,665	205,483
賞与引当金繰入額	60,000	60,000
法定福利費	35,925	35,406
福利厚生費	13,537	13,525
減価償却費	16,022	14,126
地代家賃	15,665	15,475
その他	78,523	81,115
販売費及び一般管理費合計	462,021	464,490
営業利益	67,041	113,827
営業外収益		
受取利息	1,227	1,448
受取配当金	35,468	33,452
仕入割引	11,525	14,341
その他	3,410	5,033
営業外収益合計	51,632	54,275
営業外費用		
売上割引	539	706
為替差損	480	1,089
その他	107	203
営業外費用合計	1,127	1,999
経常利益	117,545	166,103
税引前四半期純利益	117,545	166,103
法人税、住民税及び事業税	13,500	28,300
法人税等調整額	28,756	30,088
法人税等合計	42,256	58,388
四半期純利益	75,289	107,714

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。